

令和 7 年度 第 8 回春日区地域協議会

次第

日時：令和 7 年 12 月 10 日(水)

午後 6 時 30 分～

会場：上越市市民プラザ 第一会議室

1 開会

2 あいさつ

3 議題

(1) 自主的な審議

自主的審議事項について（地域のコミュニティについて）

4 その他

(1) 次回開催日程について

・日 時：令和 年 月 日 () 午後 時 分～

・会 場：_____

・内 容：_____

(2) その他

5 閉会

～ 地域協議会における会議の心得 5か条 ～

その 1 自分以外の人の考えも聞きましょう（自分ばかり話さない）

その 2 発言は簡潔にしましょう（だらだら話さない）

その 3 建設的な話し合いをしましょう（頭から否定しない）

その 4 話し合いやすい雰囲気を大切にしましょう（相手を責めない）

その 5 個人の意見は平等に扱いましょう（一人の強い意見に偏らない）

令和7年度第8回春日区地域協議会
令和7年12月10日
3議題（1）自主的な審議
資料No.1

春日区地域協議会自主的審議事項テーマ正式名称

サブテーマ名称と経過		① 子どもたちが愛着を持てる春日	② 誰もが誰かとつながっている春日
具体的な解決策のポイント（条件）		<p>市内で地域自治区の人口を比較した際、春日区では、現在は子どもの人数が多いが、将来的に少子化が進行していくことを見据え、子どもたちが春日地域に愛着を持ち、長くかかわることができるように、取り組む。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・“変わらない何か”がある「地元」と呼べる場所であること ・忘れられない思い出があること ・大人がかっこいい見本になること ・達成感があること ・子どもの頃から取り組み、身につく事 	<p>現在、人口の多い春日地区でも、将来の高齢化や組織の役員の確保、空き家管理の心配など様々な懸念がある中、それらを解消するための助け合いのコミュニティを維持すべく、人と人とのつながりをいつまでもつながっていられるよう、取り組む。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年齢や健康状態等に関わらず、誰もができる事 ・お金がかからず、誰もが集まりやすい環境であること
A	案	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちが愛着を持てる春日 ・ふるさと教育 ・地域愛の形成 ・愛着を持つ春日 ・地域が育てる春日つ子 	<ul style="list-style-type: none"> ・誰もが誰かとつながっている春日 ・春日地区のつながり ・春日地区の助け合い ・チーム春日 ・つながる春日
飯田、折橋、田中、吉田(実)、渡部	考え方など	①、②共通：春日愛の継承、住みよい春日、育てる春日	
B	案	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちが愛着を持てる春日 ・ふるさと春日 ・春日の歴史を学ぶ ・謙信公のまち春日 	<ul style="list-style-type: none"> ・誰もが誰かとつながっている春日 ・春日の歴史を学ぶ ・みんなが友達、春日の輪
池龜、崎田、田邊、松澤	考え方など	<ul style="list-style-type: none"> ・謙信公を推す 	<ul style="list-style-type: none"> ・「○○の輪」としたい
C	案	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちが愛着を持つ春日～春日流儀～ ・子どもたちが愛着を持つ春日～春日スタイル～ 	<ul style="list-style-type: none"> ・誰もが誰かとつながっている春日～春日流儀～ ・誰もが誰かとつながっている春日～春日スタイル～
市川、瀧本、原、山谷	考え方など	地域全体が馴染みある（春日小区・高志小区とも）、押し付けの無いものとすべき。	

※委員名敬称略

令和7年度第8回春日区地域協議会
令和7年12月10日
3議題（1）自主的な審議
資料No.2

自主的な審議のフレームワーク

テーマ①

○ ○ ○ ○ ○ について

～子どもたちが愛着を持てる春日～

市内で地域自治区の人口を比較した際、春日区では、現在は子どもの人数が多いが、将来的に少子化が進行していくことを見据え、子どもたちが春日地域に愛着を持ち、長くかかわることができるよう、取り組む。

プロセス	内容	協議結果
課題の設定	起きているよくない現象・将来発生する可能性がある事象などを定義する。	<ul style="list-style-type: none"> 人口減少と高齢化の進行
原因(問題)分析	何が原因で課題が発生しているのか明確にする。現状と理想のギャップを分析する。	<ul style="list-style-type: none"> 少子化、子どもの市外・県外流出
解決策の検討	考えられる解決策をできる限り挙げていき、優先順位をつける。	<p>○春日地域に関する学びや謙信公の顕彰を、地域の大人から子どもへ伝承する。</p> <p>ポイント（条件）</p> <ul style="list-style-type: none"> “変わらない何か”がある「地元」と呼べる場所であること 忘れられない思い出があること 大人がかっこいい見本になること 達成感があること 子どもの頃から取り組み、身につく事 … <p>具体的解決策</p> <ul style="list-style-type: none"> 春日村歌 謙信公検定 読み聞かせ 紙芝居 …
解決策の実行	優先順位が高いものから実行していく。効果検証をして、効果が出ていれば継続する。期待する効果が得られない場合は、他の解決策を取り入れる。	

解決策のための協議事項

時期（いつ）	
場所（どこで）	
実施者（誰が）	
対象（誰に）	
物（何を）	
実施方法（どうする）	
数量（どれくらい）	
経費（いくら）	
その他	